

「とうかい育ち」シールは村内産の新鮮な農産物の目印！

イオン東海店で「とうかい育ち」農産物を購入した方に「WAONポイント」を付与します！



村では、東海村のおいしい農産物を多くの方に知ってもらい地産地消を推進するため、村内産の農産物などに「とうかい育ち」シールを貼付し、販売しています。地産地消へのさらなる取り組みとして、イオン東海店(1階・東海村産農産物販売コーナー)で「とうかい育ち」シールが貼られた農産物を購入した方に対し、購入品数に応じてWAONポイントを付与します。

期間▼10月1日(日)～31日(火)

対象▼WAON POINTカード、イオンカードなど、WAONポイントの付与ができるカードをお持ちの方 ※購入時にカードをご提示ください。

問い合わせ▼農業支援センター(東海ファーマーズマーケット「にじのなか」内 ☎287-7867)※WAONポイント・WAONカードについては、イオン東海店(☎287-3311)へお問い合わせください。

ふるさと歴訪
〜自然を探して〜

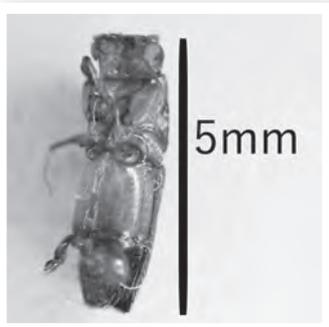
村内で「ナラ枯れ」始まる

ナラ枯れとは、コナラなどの樹皮からカシナガキクイムシ(カシナガ)という体長5ミリメートルの昆虫(写真①)が侵入し、この昆虫が付いていたナラ菌が繁殖、感染して、水を吸い上げる機能を失わせて木を枯らしてしまう伝染病です。

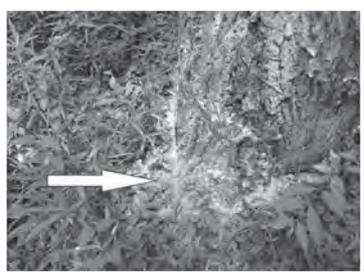
カシナガは、6月上旬にコナラに侵入し、木の中で産卵します。カシナガが侵入した際にナラ菌の胞子が持ち込まれ、その後、ナラ菌は増殖し、コナラはナラ菌の増殖を防ごうとして水分の通り道を止めてしまいます。これにより、7月頃から8月頃にかけて、葉がしおれて茶色に変色し、枯れてしまいます。

全国的に被害が拡大していますが、茨城県内でも大部分の市町村でナラ枯れが確認されています。

村内でのナラ枯れについては、昨年度あたりから話題になっていました。今年度改めて村内を調査した結果、豊岡、石神外宿、舟石川、船場、須和間、村松などでナラ枯れを確認しました。特に村松



【写真① カシナガ(オス、メス不明)
東海村環境政策課提供】



【写真② フラス(村松の林内にて令和5年8月撮影)】

の押延周辺は、ナラ枯れが数十本に拡大していました。

また、須和間、村松、石神外宿のコナラ林では葉は枯れていませんでしたが、林内に入って見たところ、木の根元にフラス(木くずとカシナガの排せつ物が混ざったもの)が発生していました(写真②)。白い粉状でよく目立つこれは、ナラ枯れの特徴です。今後の状況に注意する必要があります。

ナラ枯れの被害を最小限に食い止めるには、現在の状況を継続して記録しておくことが大切です。これが予防策につながります。自然界は動物(昆虫)、菌類、植物などがお互いに複雑な関係で結び付いています。ナラ枯れは、この複雑さを私たちに教えてくれているような気がします。

歴史と未来の交流館副館長(博物館長)

安嶋 隆